

献辞

三上宏美先生は、1936年1月10日、岡山県新見市にて生を受けられ、このたびめでたく古稀をお迎えになられます。

先生は、大阪外国語大学ドイツ語学科をご卒業後、大阪市立大学経済学部編入学され、その後、同大学院経済学研究科に進まれました。1967年に同研究科博士課程に進学されると同時に、本学商学部助手に任用され、同専任講師、助教授を経て、1987年に教授に昇進され、今日に至っておられます。

先生は、交通経済論、交通政策論をご専門とされており、商学部では「交通・通信基礎論」「交通・通信論」をご担当になり、多くの後進を育ててこられました。また、1980年には、関西大学在外研究員としてフリードリッヒ・リスト・ドレスデン交通大学（現、ドレスデン工科大学）にてご研究に精進されるとともに、99年には交換派遣教授として中国・遼寧大学において研究の交流をされておられます。この間、処女作「社会的費用論の一考察」のご発表以来、鉄道資本論、交通資本論、運輸・通信経済論、都市交通論などの学問分野で多大の貢献をされてきました。先生はむしろ寡作の研究者といえますが、それは地道で重厚な先生のお人柄を反映するものであり、研究に向かわれる姿勢は真摯そのものです。また、学会活動においても日本交通学会理事、同常任理事を務められるなど重責を担われ、学会の発展に大きな貢献をされました。先生はまた、商学部長代理、学生部長代理、大学協議会協議員などの要職につかれるなど、大学行政にもご尽力をいただきました。

先生はご専門分野に関連して、学外でも多くの委員を務めてこられました。神戸高速二号線再検討委員会、公営交通研究所理事、和歌山社会経済研究所研究委員、門真市交通安全対策委員会委員、東大阪市環境対策審議会委員などを歴任され、現在も大阪タクシー近代化センター（現、大阪タクシーセンター）委員、大阪地域タクシー協議会委員・同幹事会委員を務めておられます。

学内外で活躍され、商学部で重きをなしてこられた先生が、明年3月をもって関西大学を定年退職されることはさびしい限りです。商学部、商学会の発展のために、今後とも私たち後進を見守っていただきますようお願いするしだいです。私たちはここに先生のご足跡を回顧しつつ、『関西大学商学論集』の特集号を捧げるものです。

2005年11月吉日

商学部長 鶴田 廣 巳